

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【公表番号】特表2009-506106(P2009-506106A)

【公表日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2008-528630(P2008-528630)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

B 0 1 J 13/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/50 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 2 3 L 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/36

B 0 1 J 13/02 G

A 6 1 K 9/50

A 2 3 L 1/30 Z

A 2 3 L 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月31日(2009.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 もしくは複数のコアセルベートカプセル中にカプセル化された活性成分を含有する粒子であって、1 もしくは複数のコアセルベートカプセルは、さらにガラス状マトリックス中にカプセル化されており、その際、ガラス状マトリックスは、

(i) 疎水性に変性されたデンプン 3 ~ 50 質量%および

(i i) デンプン加水分解産物 50 ~ 97 質量%

を含有する、1 もしくは複数のコアセルベートカプセル中にカプセル化された活性成分を含有する粒子。

【請求項 2】

疎水性に変性されたデンプンが、アルケニルコハク酸エステル化デンプンである、請求項 1 記載の粒子。

【請求項 3】

疎水性に変性されたデンプンが、 $C_3 \sim C_{14}$ -アルケニルコハク酸エステル化デンプンである、請求項 2 記載の粒子。

【請求項 4】

アルケニルコハク酸エステル化デンプンが、オクテニルコハク酸エステル化デンプンである、請求項 3 記載の粒子。

【請求項 5】

デンプン加水分解産物が、5 ~ 25 のデキストロス当量を有する、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の粒子。

【請求項 6】

活性成分が、多価不飽和脂肪酸（P U F A）中のオイルリッチである、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の粒子。

【請求項 7】

活性成分をカプセル化して含有する粒子の製造方法であって、コアセルベーションにより活性成分をカプセル化して 1 もしくは複数のコアセルベートカプセルを得る工程、および 1 もしくは複数のコアセルベートカプセルの周囲にガラス状のマトリックスを形成する工程を有し、該ガラス状マトリックスは、マトリックス成分として、

（i）疎水性に変性されたデンプン 3 ～ 50 質量%および

（i i）デンプン加水分解産物 50 ～ 97 質量%

を含有する、活性成分をカプセル化して含有する粒子の製造方法。

【請求項 8】

コアセルベートカプセルの周囲にガラス状マトリックスを形成する工程が、コアセルベートカプセルをマトリックス成分と一緒に、噴霧乾燥、噴霧造粒、噴霧凝集および/または押出することにより行われる、請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

コアセルベーションのプロセスが、活性成分の周囲に層を形成する 1 もしくは複数の親水コロイドを架橋する工程を含む、請求項 7 または 8 記載の方法。

【請求項 10】

経口摂取が意図されている活性成分の不所望の、および/または不快な味、異臭または苦味をマスクするための、1 もしくは複数のコアセルベートカプセルをカプセル化する、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載のガラス状マトリックスの使用。